

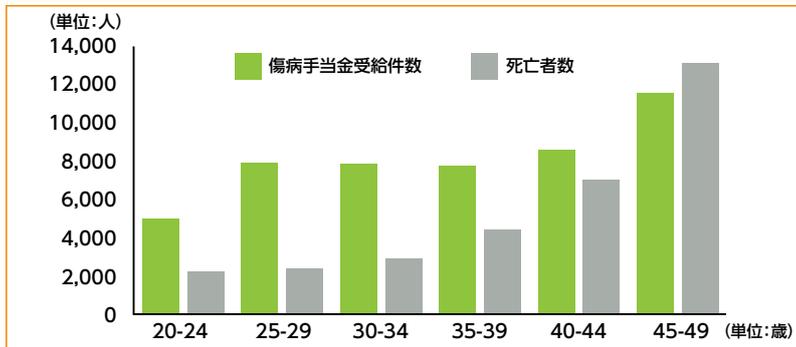
# 気になる! 就業不能 DATA

## 就業不能

### 実は働けなくなる確率のほうが高い?

その差は年齢によって違いがありますが、多くの年代で「傷病手当金受給件数」が「死亡者数」を上回っています。死亡時だけでなく、働けなくなった場合への備えも考えておく必要があります。

### ●「傷病手当金受給件数」と「死亡者数」の対比



【出典】「傷病手当金受給件数」:全国健康保険協会 現金給付受給者状況調査(令和5年度) 第3表 年齢階級別・傷病別 支給状況 ※総数から「精神及び行動の障害」の値を引いて算出  
「死亡者数」:厚生労働省 令和5年 人口動態統計

### ●世帯主が就労不能となった場合の必要生活資金に対する安心感・不安感



7割以上の人不安に感じている

【出典①】

就業不能時の備えはできていますか?

## 身近なリスク(病気)

健康だと思っけていても、日々の生活習慣が深く関与し、病気の原因となる可能性があります。



### ●定期健康診断での有所見\*1率(年代別)【出典②】

年代	割合
20歳代	36.6%
30歳代	51.1%
40歳代	70.3%
50歳代	85.5%
60歳以上	93.3%

\*1 要経過観察・受診中・要受診・要精検 対象

※厚生労働省「健康日本21アクション支援システム 健康づくりサポートネット」より抜粋

### 生活習慣病とは…?

食習慣、運動習慣、休養、喫煙、飲酒など生活習慣が、発症・進行に関与する疾患群であり、がん(悪性新生物)、心疾患(狭心症や心筋梗塞などの心臓病)脳血管疾患(脳梗塞やくも膜下出血などの脳の病)などの病気が含まれます。

【主な生活習慣病】糖尿病、高血圧、脂質異常症、狭心症・心筋梗塞などの心臓病(虚血性心疾患)、脳血管障害・脳卒中、高尿酸血症、肥満と肥満症

## 身近なリスク(ケガ)

ケガは病気と違い予防が難しく、いつ起こるか分からないリスクです。

約4人に1人の割合

### ●救急搬送の内訳

【出典③】



【出典④】

### ■スポーツ中のケガ



中には重篤な状態になってしまうことも…

### ■交通事故によるケガ



交通事故による  
負傷者数

約2分に1人

## 3大疾病

備えるべき病気はがんだけではありません。

●**脳卒中**※  
(脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血)  
脳の急激な血管障がい総称。脳の血管が「詰まる」、  
「破れる」といったことで発生する。

●**急性心筋梗塞**※  
心臓の血管が狭くなることで血流が悪くなり、心臓の  
筋肉に酸素と栄養が十分に行き渡らない状態。  
突然、締め付けられるような激しい胸の痛みが生じる。

【※出典】  
厚生労働省「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」  
「心疾患に関する留意事項」、「脳卒中に関する留意事項」部分を使用し作成

●各疾患患者数

[出典⑤]

高血圧症	1617.3万人
糖尿病	552.3万人
<b>がん</b>	<b>393.9万人</b>
<b>脳卒中</b>	<b>158.1万人</b>
<b>急性心筋梗塞</b>	<b>7.5万人</b>
慢性腎臓病	66.6万人
肝硬変	11.6万人
慢性膵炎	4.9万人

## 5つの重度慢性疾患

罹患者数も多く、私たちの身近に潜んでいる病気です。

●各疾患患者数

[出典⑤]

<b>高血圧症</b>	<b>1617.3万人</b>
<b>糖尿病</b>	<b>552.3万人</b>
がん	393.9万人
脳卒中	158.1万人
急性心筋梗塞	7.5万人
<b>慢性腎臓病</b>	<b>66.6万人</b>
<b>肝硬変</b>	<b>11.6万人</b>
<b>慢性膵炎</b>	<b>4.9万人</b>

重度慢性疾患は一般的に複数の疾病を併発する可能性もあり、これらの病気から3大疾病やさらなる重度慢性疾患を発症してしまうリスクもあります。

<糖尿病による合併症の例>

糖尿病

脳卒中

心筋梗塞・狭心症

糖尿病性網膜症

糖尿病性腎症

糖尿病性神経障害 等

## 身体障害状態・介護状態

交通事故等の不測の事態だけでなく、身近な病気から身体障害・介護状態になることもあります。

### 身体障害

●身体障害状態となった主な原因

[出典⑥]

疾病が原因	事故が原因	加齢等
<b>55.2%</b>	<b>26.1%</b>	<b>18.7%</b>

●障害程度別 身体障害者就業状況

[出典⑦]

身体障害者手帳	不就業者	就業者
1～2級	<b>63.9%</b>	32.6%
3～6級	<b>43.3%</b>	53.7%



8疾病\*2から後遺症が残り、  
身体障害状態や介護状態へと  
悪化してしまう可能性も・・・

### 介護

●介護が必要となった主な原因

[出典⑧]

認知症	16.6%
<b>脳血管疾患(脳卒中)</b>	<b>16.1%</b>
骨折・転倒	13.9%
高齢による衰弱	13.2%
関節疾患	10.2%
<b>心疾患(心臓病)</b>	<b>5.1%</b>
<b>糖尿病</b>	<b>2.9%</b>
<b>悪性新生物(がん)</b>	<b>2.7%</b>
その他	15.9%
わからない・不明	3.4%

\*2 がん(悪性新生物)、急性心筋梗塞、脳卒中、高血圧症、糖尿病、慢性腎臓病、肝硬変、慢性膵炎

[出典①] (公財)生命保険文化センター「令和6年度生命保険に関する全国実態調査」  
[出典②] (一財)日本健診財団「2022年度日本健診財団事業年報」  
[出典③] 総務省消防庁「令和6年版 救急救助の現況」  
[出典④] 警察庁ホームページ「令和6年中の交通事故の発生状況」から計算  
[出典⑤] 厚生労働省「令和5年(2023)患者調査の概況」

[出典⑥] 厚生労働省「平成18年身体障害児・者実態調査結果」  
(データ算出方法:総数から原因が「不明」と「不詳」と「その他」の人数を除いて計算)  
[出典⑦] 厚生労働省「身体障害者、知的障害者及び精神障害者就業実態調査(平成20年)」  
[出典⑧] 厚生労働省「令和4年 国民生活基礎調査の概況」